

## 申請書作成の際の注意事項

- 申請書は「1. 電子申請システム（申請書情報入力）」と「2. 申請内容ファイル（Word様式）」で構成されます。**申請書に重大な不備がある場合には、不受理とすることもありますので、募集要項及び申請書の注意事項を熟読の上、記入・申請をしてください。**
- 振興会に申請した申請書の差し替えは一切認められません。

### 1. 電子申請システムについて

(ア) 「電子申請のご案内」ページ (<https://www-shinsei.jstps.go.jp/index2.html>) から**国際交流事業用のIDとPW**を用いてログインする。

→「申請書新規作成」を選択

→「共同研究・セミナー」を選択

→A枠:相手国と対応機関を確認の上、正しい事業名で申請してください。

※同じ国でも複数の対応機関の事業がある場合や、国は別でも対応機関略称名が同じ、といった場合があります。相手国側研究者に確認の上、正しい国・機関名の記された事業名を選択してください。

B枠:「オープンパートナーシップ共同研究」、「オープンパートナーシップセミナー」、「オープンパートナーシップセミナー（大学間連携）」の中から選択してください。

**【注意】** 誤った事業名を選択し申請した場合、差し替えることはできません。

- A枠では、相手国側対応機関が受け付けた申請と一致しない場合、日本側の申請・相手国側の申請とも審査の対象外となります（例：中国NSFCとの共同研究に申請するつもりが、中国CASとの共同研究に申請してしまった）。
- A枠の予定がB枠に申請した場合、日本側の審査は行われますが、相手国側の申請は審査の対象外となります。

(イ) 電子申請システムは6月中旬から入力・提出が可能となります。

(ウ) **【A 対応機関との合意に基づく共同研究・セミナーのみ】** 両国の共同研究・セミナー代表者名及び研究課題名（英文）・セミナー名（英文）・分野（インドDST及び韓国NRFのみ）について、相手国側での申請情報と一致するように、相手国側代表者と協議の上、入力をしてください。**相手国側の申請情報と一致しない場合、審査の対象外となる可能性があります。**

(エ) 小区分について、自身の申請書の審査を希望する書面審査区分に含まれる小区分を選択してください。複数の書面審査区分に現れる一部の小区分を選択した場合は、審査を希望する書面審査区分と合議審査区分を選択する必要があります。なお、実際の書面審査は、電子申請システム上で表示される書面審査区分ではな

く、「書面審査セット」で行います。事業ごとに異なる書面審査区分や小区分を組み合わせる書面審査セットを設定する場合がありますので、二国間交流事業の「書面審査セット表」も参照の上、申請書を作成してください。

[https://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/shinsei\\_shinsa.html](https://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/shinsei_shinsa.html)

- (オ) 和文、英文の指定がありますので、これに従ってください。J I S 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用することができません。
- (カ) 参加者について、申請時に募集要項4. 要件に記載の条件を満たしている必要があります。ただし、学生については研究開始日の時点で修士課程以上の在籍者となる予定の者であれば、職名を学部生、最終学位を学士取得見込みとして登録できます。
- (キ) 相手国側参加者には、第三国にある機関に所属する者を含めることはできません。
- (ク) 【共同研究のみ】研究の終了日について、研究遂行上明確な理由がある場合を除き、月末を最終日としてください。
- (ケ) 【共同研究のみ】申請内容ファイルの「共同研究の実施計画」を記入、申請書情報入力「申請経費」を入力する際には、研究期間と会計年度に不一致がないよう留意してください（例：7月から2年間の実施期間の場合、3会計年度となります。第1会計年度は7月から翌3月、第3会計年度が4月から6月まで）。
- (コ) ウェブサイトに「参考：申請書情報」（PDF）として入力画面を掲載していますので、併せてご確認ください。

## 2. 申請内容ファイル（Word様式）

- (ア) 二国間交流事業のウェブサイトで公開されている申請書様式以外による提出は認められません。必ず下記ウェブサイトからダウンロードしてください。様式は「共同研究」、「セミナー」、「セミナー（大学間連携）」でそれぞれ異なりますので、下記表のとおり正しい様式を使用してください。なお、異なる様式で作成した場合は（例：「共同研究」事業だがセミナーの様式を使用、全く異なる様式を用いて作成）、不受理と致します。

[https://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/shinsei\\_bosyu.html](https://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/shinsei_bosyu.html)

| 事業名                         | 申請内容ファイルの様式（Word） |
|-----------------------------|-------------------|
| A 枠：共同研究<br>B 枠：共同研究        | 共同研究              |
| A 枠：セミナー<br>B 枠：セミナー        | セミナー              |
| B 枠：オープンパートナーシップセミナー（大学間連携） | セミナー（大学間連携）       |

- (イ) 申請内容ファイルは、PDFファイルに変換され、以降の審査処理に使われます。外字や特殊フォント等は正しくPDFファイルに変換されませんので、変換されたPDFファイルの内容を提出前に必ず確認してください。うまく表示されない文字・記号等がある場合には、画像として貼り付ける等、作成しなおしてください。
- (ウ) 日本語又は英語で記載してください。これら以外の言語での記載は認められません。
- (エ) **様式の改変（増ページ、項目の追加・削除、枠内の注意事項等の削除修正等）**はできません。
- (オ) 申請書はモノクロ印刷を行い審査員に送付するため、印刷した際、内容が不鮮明とならないよう、作成に当たってはご注意ください。
- (カ) 3MB以上のファイルは送信できませんので、画像を貼り付ける際はご注意ください。
- (キ) URLアドレスの記載は可能ですが、当該ホームページの内容は申請書の一部として認められませんので注意してください。
- (ク) **【A枠のみ】** 相手国側研究者が相手国側対応機関に申請する指定の様式・内容とは異なりますので、ご注意ください。